

関西財界セミナー賞 2023

関西財界セミナー賞は、関西において、強い競争力や優れたビジネスモデルを持ち、その独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人を表彰している。



大賞

オリックス株式会社



〈受賞理由〉

関西3空港の一体運営やうめきた開発などを通して関西地域の発展に寄与。オリックス・パファローズの球団運営にも携わり、2022年にはリーグ連覇と日本シリーズ制覇を達成するなど、スポーツを通じ関西を盛り上げた。

〈受賞コメント〉井上 亮 取締役兼代表執行役社長・グループCEO

関西3空港の運営をはじめ、関西地域でさまざまな投資や事業を行っている。2025年大阪・関西万博を控えた関西地域で、皆さまのご支援をいただきながら、さらなる事業展開を進めていきたい。日本シリーズでのオリックス・パファローズと阪神タイガースの関西決戦の実現にも期待している。

特別賞

大阪中之島美術館



〈受賞理由〉

2022年の開館以降、気軽に美術と触れ合え自由に人々が行き交える特徴的な構造を備えた「開かれた美術館」として多くの人に親しまれている。また、独自性のある展覧会を開催するなど、アート振興や地域活性化にも大いに貢献している。

〈受賞コメント〉

菅谷 富夫 館長

準備期間が長かったが、その間に、多くの方に来館いただけるようさまざまな工夫を重ねてきた。開館後は企業の皆さまから多くのお声がけをいただき、大阪中之島美術館は経済界と共にあることを実感した。美術館は長く続いていくものである。今後さまざまな形でのご支援をお願いしたい。

一般財団法人大吉財団



〈受賞理由〉

日本初の民間主導による産官学連携子ども支援プラットフォーム「BE KOBEミライPROJECT」を立ち上げるなど、子どもへの直接的な支援に加え、支援団体などを対象にB to B型の支援を展開することで、多くの人を巻き込み善意の輪を広げながら社会問題の解決に尽力している。

〈受賞コメント〉

山本 吉大 理事長

生まれ育った神戸のために、地元の経済界・行政・学校・学生・子ども支援団体を巻き込み、「BE KOBEミライPROJECT」を立ち上げた。支援を受けた学生がボランティアをする側に立ち、ゆくゆくは神戸で働き、暮らす。こうしたエコサイクルの実現をめざし、これからも頑張っていきたい。

マイクロ波化学株式会社



〈受賞理由〉

マイクロ波を用いた独自技術の開発や、その実用化を可能にする世界初の量産プラントの建設など、化学産業の製造プロセスの革新につながる取り組みを展開。さまざまな企業との分野を超えた研究開発も進展しており、脱炭素社会実現への貢献が期待されている。

〈受賞コメント〉

吉野 巖 代表取締役社長CEO

2014年に大阪市住之江区に世界初の大規模工場を開設し、現在はさまざまなメーカーと共同で研究開発を行っている。関西はマイクロ波の技術や化学工業に強みがあるので、これらを組み合わせるプラットフォーム化し、世界に貢献できる技術を大阪・関西から広げていきたい。

輝く女性賞

株式会社斗々屋 代表取締役社長 梅田 温子 氏



セルフ量り売りシステム等を導入した店舗

〈受賞理由〉

セルフ量り売りシステム等を導入したスーパーマーケットを運営し、仕入れから販売までゴミやフードロスが出にくい店舗づくりを実現。ゼロ・ウェイストな生活スタイルの魅力を世に広めながら、持続可能な社会の実現に取り組んでいる。

〈受賞コメント〉

さまざまな働き方やライフスタイルを尊重することで、今まで後回しだった地球にも社会にも優しい経済活動が見えてくる。日々の買い物という小さな選択が変われば、そこからさらに大きい社会の仕組みも変わっていくと思っている。これからは皆さまと共に、より良い未来を作っていきたい。

NPO法人エル・コミュニティ 代表 竹部 美樹 氏



〈受賞理由〉

福井県鯖江市で、学生対象の地域活性化プランコンテストの開催やITものづくり拠点の運営を行い、若者が活躍する場の創出や地域を担う人材の育成に寄与している。取り組みは地域の人々が地元への愛着を深めるきっかけとなっており、地域活性化にも大いに貢献している。

〈受賞コメント〉

鯖江は、地場産業の眼鏡・漆器・繊維に加え、10年ほど前からITにも力を入れている。その継続には人材が必要なため、地元で担い手を育成したいという思いから15年間活動を続けている。鯖江モデルを全国・世界へ広げていくためにも、今後もさまざまな企業の方々と共に活動を進めていきたい。

エルセラーン化粧品株式会社



〈受賞理由〉

化粧品の製造販売等の売上げの一部を活用し、途上国での学校建設等に取り組んでいる。創業者の思いを受け継いだ生え抜きの社長をはじめ、社員やボランティアキャプテンの多くが女性が占めており、女性の力を生かしながら、だれもが活躍できる社会づくりを推進している。

〈受賞コメント〉糸谷 沙恵子 代表取締役社長兼1%クラブ代表

「教育こそが世界を変える」との思いで、アジアの途上国で240校を建設してきた。そこで教育を受けた子どもたちがいまや医者や外交官として活躍しており、こうした子どもたちの成長が仕事の原動力になっている。学校建設1,000校と世界平和をめざし、これからも輝く女性の方で邁進していきたい。

サンコーインダストリー株式会社



「世界最高齢の総務部長」の玉置氏

〈受賞理由〉

出産や子育てを経ても女性が安心して仕事を続けられるよう、社員の意見をもとに時代に即した制度改正を積極的に進めている。取り組みの積み重ねにより、「世界最高齢の総務部長」としてギネス記録に認定された92歳の現役女性社員が在籍するなど、女性が安心して長く活躍できる環境を生み出している。

〈受賞コメント〉玉置 泰子 総務課長

社員の約44%は女性で、うち約30%が産休・育休を経て現役復帰し活躍している。働きやすい制度のもと、楽しく明るい仲間に恵まれ、女性がいきいきと働いている。会社としては100年企業をめざし頑張っているが、人生も100年時代、社員一人ひとりが仕事に誇りを持って未来を切り開いていきたい。

奈良国立大学機構奈良女子大学



〈受賞理由〉

2022年に全国的女子大初の工学部を新設。女性のエンジニア不足が課題となるなか、工学を学びたい女性の選択肢や可能性が増えることに加え、今後、エンジニアリングの世界で多くの女性が活躍し、研究開発にさらなる多様性がもたらされるきっかけとなることが大いに期待される。

〈受賞コメント〉藤原 素子 副学長

工学部は、リベラルアーツ教育、STEAM教育、課題解決型演習の3本柱に加え、入学後に自由に選択できる専門分野を備え、今後必要とされるモノやサービスを主導的に創り上げる女性エンジニアの育成をめざしている。今回の受賞を機に、工学を学びたい女性への支援や環境整備が全国に広がればうれしい。